

# 第1部 8項目の初動対応(その2)

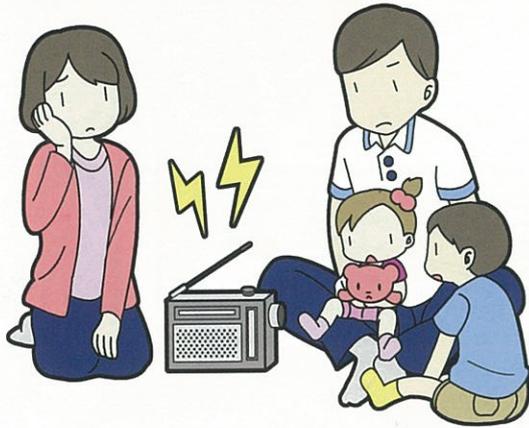
自分の身を守る

自分の家を守る

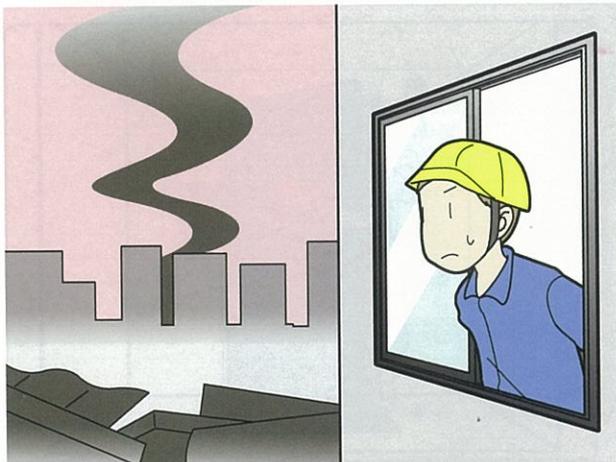
被害の大きさを  
見極め近隣を守る

地域を守り自分が  
守られる

## 5. 携帯ラジオの情報から自分で地域の被害の目安を立てる



ラジオは日頃から使う習慣をつけておいてください。



大きな被害があると、普段とは異なったすごいほこりと臭いがします。

地震後は、震源の場所、地震の規模、深さ、各地の震度について、ラジオなどで即時に報道されますが、地震被害の全貌がわかるのは数日かかります。したがって、各地の震度から地域で、あるいは東京全体でどのような被害が起きたかを自分なりに推定します。

## 6. 外の被害を見回り被害があったら対応する



消火活動は何よりも優先します。



倒壊した建物などの下敷きになっている人の救助や、けが人救護なども時間との勝負です。

地震後は、火災が起きてても消防は来ないと考えてください。そこで、近所の人と協力して消火活動が必要となりますが、出火後15~30分以内が勝負です。マンションの場合、隣室や階下で出火していたら、窓からの類焼を防ぐため洗濯物を取り込んで避難します。